

01 ネット時代の成功例に学べ!

金がないなら知恵を使う
SNSで知名度UP大作戦

▶ チェコの自動車メーカーS社がフランス市場での知名度アップのため、自動車の購入を考える人の約80%がYouTubeのレビュー動画を参考とすることに目をつけた。

S社はユーチューバーの同意の下、すでに公開されている人気車種のレビュー動画に同社の新型車種の看板を合成してアップロードし直した。ユーザーが、他社のクルマを紹介する動画を見ると、道路沿いやカーブにS社の看板が立っていて、嫌でも目に入る。検索対象にすらならなかったS社が、多くの人に関心を持ってもらうことに成功した。

▶ エクアドルでビール会社が炭酸アルコール飲料を発売したが、PRでSNSを使おうにもインフルエンサーを起用する予算がないため、Instagramの一般ユーザーに、新商品の写真を投稿すると謝礼として同じ商品を1本プレゼントすると協力を呼びかけた。

その結果次々と写真がアップされ、17日間の期間中にポジティブ・センチメントは84%を記録、売り上げは297%増加した。一般人を巻き込むことで、好感度だけでなく売り上げも大きく増やすことができた。

02 繁栄企業の成功要因を探る

ありのままの自然を活かした
山林のレンタルサービス

▶ キャンプが人気で山林を購入するキャンプ愛好家もいるが、費用や維持・管理のことを考えると気軽に購入できる人は少ない。

そこで岐阜県東白川村の林業会社が2020年11月から自社所有の森林を貸し出すサービスを始めた。1区画は約300坪(約990㎡)で、簡易トイレはあるが水道、電気なし。区画内の直径15センチ以下のヒノキやスギは伐採可能。料金は1年契約で6万6,000円(税込)。

契約者はいつでも予約なしで気軽にキャンプができる。テントを好きなところに張れて、焚き火も自由。登記などの手続も固定資産税も不要だ。

最初に17区画を貸し出したところ440人もの応募があった。その後、村から村有林活用の依頼があり、現在は計77区画を貸し出していて空きはない。9割の利用者が契約を更新している。

さらに、同社はノウハウを活かして、北海道、静岡、京都・福知山、福岡の山林所有者とフランチャイズ契約を締結し、同社のホームページで利用者を募集しているが、どこも契約済みが多い。



Check! 要チェック! 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識

▶▶▶ 個人情報保護が常識となった今、
パーミッション・マーケティングが
見直されている《前編》

ネットユーザーのブラウザでの動向を判定するクッキーは、ユーザーの関心に合わせて広告を表示させることができる便利な機能。ところが、個人情報保護が常識になった今、サイトを閲覧する際にクッキーの使用同意をクリックするのをためらう人がいる。

また、不特定多数に向けてのテレビCMや新聞広告は、広く早く情報を伝える手段として効果的だ。しかし、これらはインタラプション・マーケティングと呼ばれ、情報の押し付けや視聴を邪魔されることでストレスを感じる人も少なくない。インタラプション(Interruption)とは「妨害」「中断」といった意味である。

その中で今、パーミッション・マーケティングが利用価値を見直されている。

● パーミッション・マーケティングの手法

パーミッション(Permission)とは「許可」という意味で、パーミッション・マーケティングはユーザーの許可を得てから情報取得や営業活動を行うマーケティング手法である。

その代表的な手法にオプトインメールがある。店頭やWEBサイトで顧客に会員登録をしてもらい、許可を得てからメルマガなどのメールを配信する手法だ。例えばECサイトで商品を購入する際に「メルマガ配信を受け取る」といった項目にチェックを入れて登録すれば許可したこととなり、メルマガが配信される。B to Bマーケティングでは、顧客の役に立つホワイトペーパーの配布や、オンラインセミナーの開催などを通してメルマガ送信の許可を得ることもある。

LINEやTwitter、Instagram、YouTubeなどのSNSで企業のアカウントのフォロワーにクーポンや割引の情報を流すことも、パーミッション・マーケティングの一つと言える。

最近よく行われているオリジナルアプリを通じた情報配信も、パーミッション・マーケティングに分類することができる。

さらに効果的な方法として、同意を得た顧客へのダイレクトメールの郵送がある。紙で届く情報は手元に置いていつでも何度でも見てもらえる。割引クーポンの同封などの特別なサービスもできる。メール配信よりコストはかかるが、興味のある顧客に対して有益な情報を直接知らせることで高い効果上げる可能性がある。

パーミッション・マーケティングは、そのメリットとデメリットを理解することで、より効果的に利用できる。

次号に続く